

2025年12月12日

2026年3月時刻改正 新しい貨物鉄道輸送サービスのご案内

～モーダルシフトのご要望の多い区間の輸送力を増強します～

トラックドライバーの時間外労働規制が強化されるなか、物流の持続性確保が重要な課題となっています。また、物流分野においてもカーボンニュートラルの実現が求められています。こうした状況を踏まえ、環境特性に優れ、労働生産性の高い貨物鉄道輸送への期待が高まっています。

このたびのダイヤ改正では、コンテナ列車の増発や輸送体系を変更することで、ご要望の多い区間の輸送力を増強します。さらに、近年ニーズが高まっている大型コンテナの取扱い拡大にも取り組みます。

これらを通じて、モーダルシフトのご要望に応え、お客様がご利用しやすい貨物鉄道輸送を提供いたします。

【ダイヤ改正の主な内容】

1. コンテナ列車の利便性向上

- (1) 東京→大阪間の輸送力増強、速達化
- (2) 名古屋→福岡間の輸送力増強
- (3) 仙台↔東京・名古屋・大阪間の輸送力増強
- (4) 新潟↔大阪間に臨時列車を設定
- (5) その他ご要望の多い区間の輸送力増強

2. 大型コンテナネットワークの拡大

3. BCP対策強化

【ダイヤ改正日】

2026年3月14日(土)

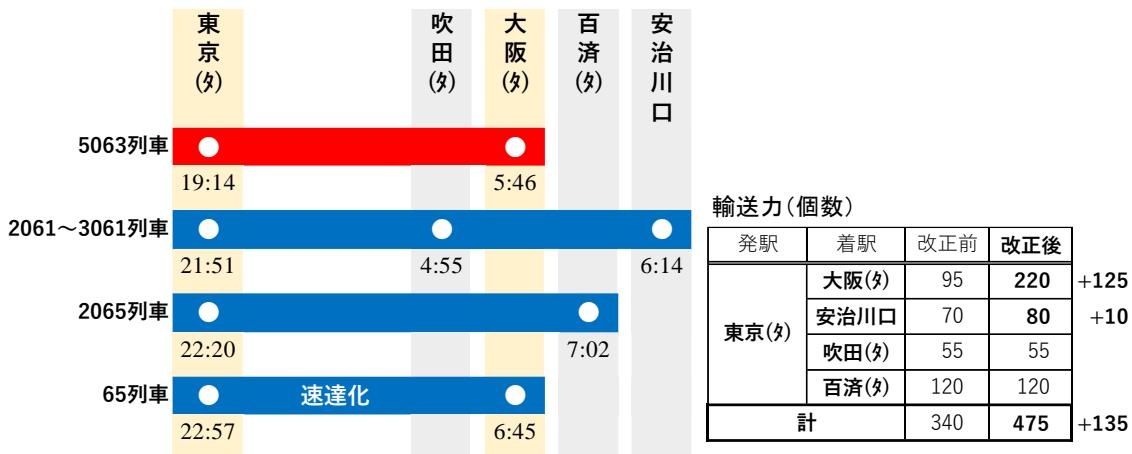
本文中の(タ)は貨物ターミナルの略です。

各項目の輸送力(個数)は、12ft コンテナの個数を示します。

時刻関係については 12月12日現在のものであり、変更となる場合があります。

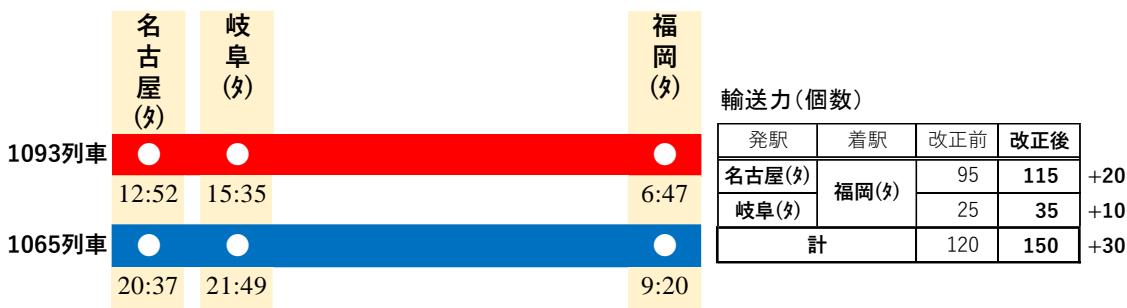
東京→大阪間の輸送力を増強し速達化します

物流の大動脈である東京→大阪間の輸送力を大幅に拡大し、モーダルシフトへのご要望にお応えします。さらに、東京(夕)→大阪(夕)間のコンテナ列車を速達化し、利便性を向上します。



名古屋→福岡間の輸送力を増強します

ご利用、ご要望の多い名古屋・岐阜→福岡間の輸送力を増強します。



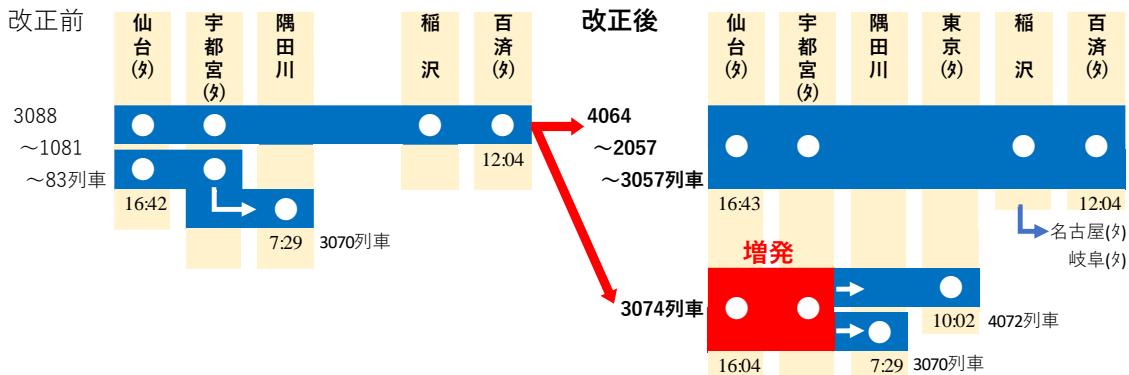
主な変更点(東京→大阪間 輸送力増強、速達化／名古屋→福岡間 輸送力増強)

改 正 前			改 正 後			記 事
列車番号	発 駅	着 駅	列車番号	発 駅	着 駅	
5073	東京(夕) 8:09	福岡(夕) 6:47	5063	東京(夕) 19:14	大阪(夕) 5:46	途中停車駅 岐阜(夕)・京都貨物・姫路貨物・広島(夕)・北九州(夕)
			1093	名古屋(夕) 12:52	福岡(夕) 6:47	
65	東京(夕) 22:59	大阪(夕) 7:05	65	東京(夕) 22:57	大阪(夕) 6:45	所要時間 7 時間 48 分(△18 分)

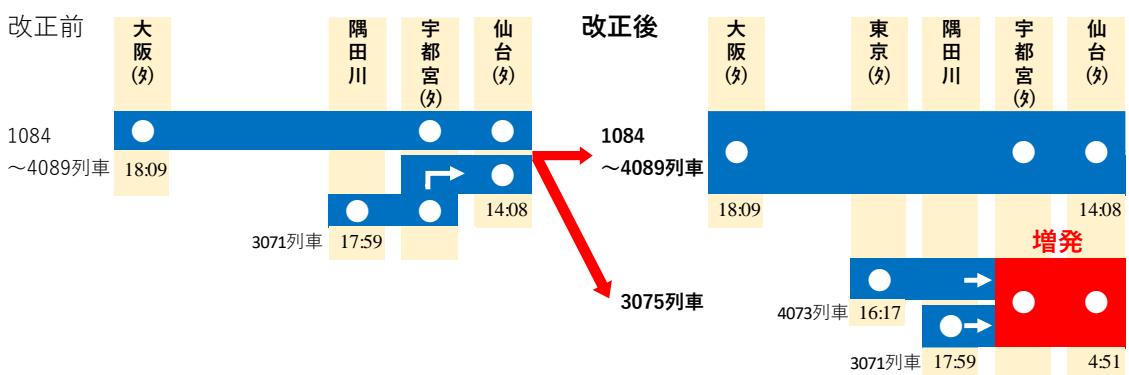
仙台↔東京・名古屋・大阪間の輸送力を増強します

仙台(外)↔宇都宮(外)間にコンテナ列車を増発し、仙台↔大阪間の列車の輸送体系を再編します。これにより、仙台↔東京・名古屋・大阪間の輸送力を増強します。

【 仙台→東京・名古屋・大阪 】



【 大阪・東京→仙台 】



輸送力(個数)

発駅	着駅	改正前	改正後
仙台(外)	東京(外)	0	20
	名古屋(外)	0	15
	岐阜(外)	0	10
	吹田(外)	10	15
	百済(外)	20	40

発駅	着駅	改正前	改正後
仙台(外)	郡山(外)	20	25
	大阪(外)	15	45
	静岡貨物	0	5
	横浜羽沢	0	10
	東京(外)	0	20
		+20 +15 +10 +5 +20	+5 +30 +5 +10 +20

列車番号	発 駅	着 駅	記 事
3074	仙台(外) 16:04	宇都宮(外) 22:14	新 設
3075	宇都宮(外) 23:17	仙台(外) 4:51	新 設

改 正 前			改 正 後			記 事
列車番号	発 駅	着 駅	列車番号	発 駅	着 駅	
3071 ↓ 4089*	隅田川 17:59	仙台(外) 14:08	3071 ↓ 3075*	隅田川 17:59	仙台(外) 4:51	所要時間 10 時間 52 分 (△9 時間 17 分)

※宇都宮(外)にて、貨車継送の列車を 4089 列車から 3075 列車へ変更します。

新潟↔大阪間に臨時列車を設定します

お客様からのご要望の多い、新潟↔大阪間に臨時列車を設定します。

列車番号	発 駅	着 駅	輸送力	記 事
8062	新潟(夕) 7:53	百済(夕) 18:58	90 個	ご要望の多い時期に 運転
	南長岡 9:53		10 個	
8063	百済(夕) 9:28	新潟(夕) 21:00	100 個	

その他ご要望の多い区間の輸送力を増強します

お客様からのご要望の多い区間の輸送力を増強し、輸送サービスを向上します。

列車番号	運転区間		輸送力増強区間		輸送力 (改正前との比較)
	発 駅	着 駅	発 駅	着 駅	
4056～5057	倉賀野 19:25	福岡(夕) 19:14	静岡貨物 1:38	福岡(夕) 19:14	20 個 (+10 個)
5070～4071 ↓※ 1054	福岡(夕) 1:04	仙台(夕) 6:00	福岡(夕) 1:04	東京(夕) 21:04	10 個 (新設)
	鍋 島 21:27	東京(夕) 21:04			
4066～1067	宇都宮(夕) 17:58	広島(夕) 15:03	宇都宮(夕) 17:58	神戸(夕) 7:01	5 個 (新設)

※北九州(夕)にて 5070 列車から 1054 列車へ貨車継送します。

大型コンテナのネットワークを拡大します

大型トラックとほぼ同じサイズでモーダルシフトのしやすい 31ft コンテナの取扱いを拡大します。

主な輸送拡大区間

宇都宮(夕)→広島(夕)、新南陽→宇都宮(夕)、名古屋(夕)→熊本、福岡(夕)→金沢(夕)



BCP対策を強化します

主に東北線を中心に運用しているEH500形式交直流電気機関車の運用区間を上越線へ拡大します。これにより輸送障害時の迂回輸送対応力を強化し、関東↔東北間におけるリダンダンシーを向上します。



ダイヤ改正に向けて機関車・荷役機械・コンテナを投入します

【機関車】

形式	EF210 形式
新製数	6両

【荷役機械】

形式	フォークリフト 12ft 用	フォークリフト 20ft 用	トップリフター 31ft・40ft 用
新製数	53 台	12 台	8 台

【コンテナ】

形式	19D 形式	V19B 形式
新製数	2,500 個	1,500 個
扉構造	両側開きタイプ	妻側開きタイプ
内法寸法(mm)	2,252×2,275×3,647	2,228×2,308×3,587
内容積(m³)	18.7	18.5